

十二月鹿ノ台教室誌上句会 優秀句

お題「コメント」(連記) 森里えいじ選

コメントは解説意見ノーになる 宏樹

なりたいたよコメント気まま評論家 充

コメント欄朝のコーヒーよくなじむ よう子

今朝も見るコメントーター多き医師 幸男

都合良くノーコメントの使い道 登美

横文字を並べコメント意味不明 英二

コメントは差し控えます旦那さま 広子

コメントはマスコミ向けに色を添え ミノル

コメントを控え奥ゆかしさを出す ちさと

論評にふりがなつけて丸暗記 正清

インタヴィユアアやはり美人にマイク向け 乃り子

反対ですと言えよよかつた悔い残る 春代

こころ解くそのひと言を待っていた 哲子

コメントはうなじに残るキスマーク 義雄

言葉は救い明日は明日風が吹く 千楽

秀 コメントーター空気読むのも忘れない アキラ

軸 不出来だがコメントばかり気にかかる えいじ

お題「徳」 原 広子選 \*字結び可

損と徳瞬時に分ける器用者 登美

車窓から道徳心とゴミ捨てる よう子

お徳用欲につられて無駄を買う よう子

影武者が本人よりも徳がある ちさと

道徳が教科となつて効果出ず 幸男

徳俵踏むタイミング練に練り 充

精進を重ね解脱の朱印状 正清

おだやかな観音様に見透かされ 春代

左遷の地人徳のある上司知る 千楽

地獄が怖く日に一善の徳を積む 義雄

ものすごく影響力のあるゴリラ ちさと

秀 逝くまでに身につけたいと汗をかき えいじ

軸 日にひとつ善いことをして手を合わす 広子

お題「忘れる」 前田幸男選

忘れたい事こそ残る傷の跡 登美

物忘れ前からだよと皆が言う 春代

何度でも痛み忘れて人を恋う 広子

忘却の彼方の君は若いまゝ 乃り子

墓まいり見なれた傘が置いてある えいじ

今日も又何か忘れて頑張るぞ 宏樹

忘却と言えよロマンの香りして 充

もうすぐか忘れることの名人に 充

自分まで忘れられたら楽になる 義雄

忘れるが上手になつた年の功 ミノル

聞き上手忘れ上手のティータイム よう子

秀 手鏡が忘れてた老い映し出す 広子

軸 何もかも忘れることで楽になる 幸男

自由吟(共選) 坪田登美選

散り際を引き延ばして美容液 広子

インフルが出番がないと嘆く冬 幸男

気兼ねなくやってみたいな落ち葉焼き えいじ

下心なしを貫き虚偽に舞う アキラ

塩を足すアンコが俄然生きてくる 千楽

ケイタイの灯り頼りにトイレまで 英二

コロナ避けここまで来たぞかくれ里 充

生きるには自力と他力おりませて 宏樹

コロナ禍の疲れた民で街は死ぬ 乃り子

あの時の嘘が心にわだかまる アキラ

山茶花の白いかんばせ闇に浮く 広子

秀 不用意に投げる言葉のブーメラン よう子

軸 甘言があなたの油断見のがさず 登美

自由吟(共選) 橘正清選

天国に行つて戻つてする欠伸 ちさと

過去と別れ別天地へとすべり出す 春代

下心なしを貫き虚偽に舞う アキラ

老眼鏡外してそつと載る計り 哲子

山茶花の白いかんばせ闇に浮く 広子

インフルが出番がないと嘆く冬 幸男

再生紙に負けるものかと生きている よう子

寒い朝犬のウンコの温かさ 英二

散り際を引き延ばして美容液 広子

くちぐるま乗せるも乗るも罪と罰 幸男

群青をダブル塗装の小宇宙 ちさと

秀 不用意に投げる言葉のブーメラン よう子

軸 コスミックブルーの無を見舞かす 正清

一月誌上句会 投句メ 一月九日 各二句

「門出」播本英二選 「飲む」奥村義雄選

「なぜ」(連記) 勝部乃り子選

自由吟(共選) 山神春代選 川崎ちさと選

\*メール又は封書 アキラ迄

\*書式・用紙は自由、お題・柳号記入を

\*一月は九日投句メに変更、アキラ所用の為。